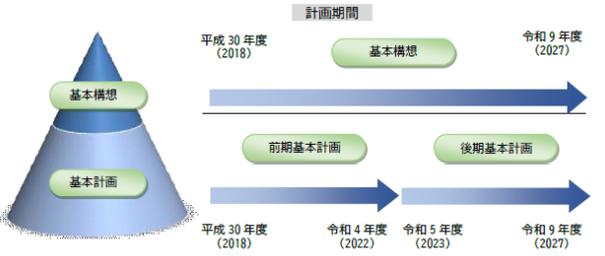
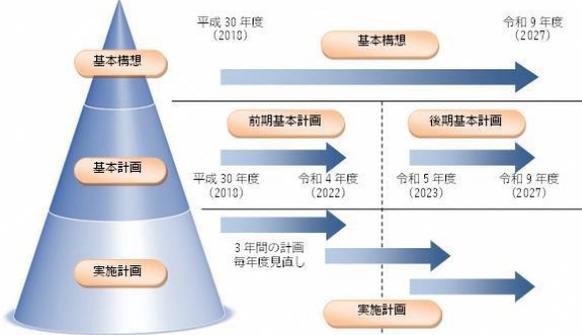


第Ⅱ期南島原市総合計画後期基本計画（案）修正表

(第4回審議会時素案と第5回審議会時案の比較／修正したものの中のうち主な修正)

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他
1 ページ 17行目以降	また、本市では「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年度(2015)に人口減少対策に特化した「南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、南島原市総合計画と整合を図りながら取組を進めてきましたが、本市が抱える最大の課題である人口減少対策を総合的かつ強力に推進するとともに、デジタルの力を活用して地域の課題解決や魅力向上を図るため、市の最上位計画である第Ⅱ期総合計画後期基本計画と総合戦略を一体化することとしました。	また、本市では「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27(2015)年度に人口減少対策に特化した「南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、南島原市総合計画と整合を図りながら取組を進めてきましたが、本市が抱える最大の課題である人口減少対策を総合的かつ強力に推進するため、市の最上位計画である第Ⅱ期総合計画後期基本計画と総合戦略を一体化することとしました。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度表記を他と統一。 ・国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の趣旨を踏まえて文言を追記。
2 ページ 図表 (計画期間)			<ul style="list-style-type: none"> ・第Ⅱ期後期基本計画冊子に掲載していない実施計画部分を削除。
2 ページ (2)計画の位置づけ	計画は、市政の最上位計画に位置付けられ、市民と行政がともに進めるまちづくりの指針となるもので、南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略を内包しています。	計画は、市政の最上位計画に位置付けられ、市民と行政がともに進めるまちづくりの指針となるものです。	<ul style="list-style-type: none"> ・国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を受けて、本市の総合戦略を改称して内包していることを追記。 ・図表「計画の位置付け」内の戦略の名称も変更。

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他
3 ページ以降 注釈部分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※VUCA 「Volatility (変動性)」「Uncertainty (不確実性)」「Complexity (複雑性)」「Ambiguity (曖昧性)」の頭文字をとったもので、不確実で将来の予想が難しい社会状況を指す言葉です。 </div>	※VUCA 「Volatility (変動性)」「Uncertainty (不確実性)」「Complexity (複雑性)」「Ambiguity (曖昧性)」の頭文字をとったもので、不確実で将来の予想が難しい社会状況を指す言葉です。	<ul style="list-style-type: none"> 注釈部分であることをわかりやすくするため、四角囲みとした(以降の注釈全て同様)。
5 ページ (10)デジタル田園都市国家構想の実現	<p><u>(10) デジタル田園都市国家構想 の実現</u> <u>国では「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定し、令和4年12月に閣議決定がなされました。</u> <u>地方公共団体は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンの再構築と地方活性化の取組の推進が求められています。また、これまでの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組をデジタルの力を活用して継承・発展させるとともに、デジタル活用に限定することなく、取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要とされています。</u> <u>さらに、これらの取組の推進にあたっては、重層的・複合的な視野のもとに進めることが肝要であることから、施策間連携はもとより、近隣市町や県との広域的な連携も重要とされています。</u> <u>以上のような考えに基づき、従来の「南島原市まち・ひと・しごと総合戦略」を再構築し、「南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略」として第Ⅱ期総合計画後期基本計画と一体化するとともに、社会情勢の変化や各種課題に対応した持続</u></p>	(記載なし)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月末に示された国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の趣旨を踏まえ、令和2年に策定した「南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を再構築して、後期基本計画と一体化した旨の説明を追加。

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他
	<u>可能なまちづくりに取り組みます。</u>		
13ページ ～14ページ 円グラフ	※円グラフに枠追加		・円グラフの境界が曖昧だったため、見やすくしたもの。
14ページ 基本柱7	基本柱全体としては、判定Aと判定Bの指標は14項目(73.7%)となりました。 要因としては、情報基盤の分野で令和3年度(2021)に市内全域に光ファイバ網が整備されたことや市ホームページ閲覧数が、目標以上の達成状況となっている一方で、 <u>景観形成に関する取組は、令和2年以降市内小学校での活動を中止しているため、目標を半分程度しか達成できなかったことが挙げられます。</u>	基本柱全体としては、判定Aと判定Bの指標は14項目(73.7%)となりました。 要因としては、情報基盤の分野で令和3年度(2021)に市内全域に光ファイバ網が整備されたことや市ホームページ閲覧数が、目標以上の達成状況となっている一方で、 <u>環境形成に関する取組は、支援要件が厳しいこともあったことから、目標を半分程度しか達成できなかったことが挙げられます。</u>	・パブリック・コメントによる意見により、記載内容が誤っていたことが判明したため、正しい内容に修正したもの。
16ページ 基本柱5・6 説明枠内	基本柱5「人づくり」 <u>あらゆる世代の市民が、いつでも学ぶことができ、また、スポーツに親しむことのできるよう環境の整備や機会の提供に取り組みます。</u> <u>あわせて、将来を担う子どもたち一人ひとりの個性と能力を伸ばし、「人間力」を育む教育の充実を図るとともに、市民協働を担う人材の育成など、“次代を育む人づくり”を推進します。</u> 基本柱6「安全安心」 <u>地震や風水害、火山の噴火など、様々な自然災害に対する防災意識の醸成に努めるとともに、いざという時に迅速な対応がとれるよう、地域の自主防災組織の強化や防災資機材の充実、非常食の備蓄など、災害対応力の向上に努めます。</u> <u>また、防犯・交通安全への活動や消費者被害の防止に向けた取り組みを進め、“安全安心に暮らせるまち”を目指します。</u>	基本柱5「人づくり」 <u>市民の誰もが健康で、安心して暮らすことができるよう、市民自身のセルフケア能力を高め、健康寿命の延伸を図るとともに、支え合いの支援体制づくり、保健・医療・福祉の連携した環境整備等を推進し、“健康でつながりを大切にすまち”を目指します。</u> 基本柱6「安全安心」 <u>あらゆる世代の市民が、いつでも学ぶことができ、また、スポーツに親しむことのできるよう環境の整備や機会の提供に取り組みます。</u> <u>あわせて、将来を担う子どもたち一人ひとりの個性と能力を伸ばし、「人間力」を育む教育の充実を図るとともに、市民協働を担う人材の育成など、“次代を育む人づくり”を推進します。</u>	・基本柱5「人づくり」の説明が「健康福祉」、基本柱6「安全安心」の説明が「人づくり」の内容であったため修正したもの。

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他
19ページ (4)人口の将来展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「市内高校の魅力向上」や「しごと」の創出により、<u>人口流出抑制と若年層のUターンを促進</u>します。(目標：例：2040年80人程度) ・<u>魅力的な田舎暮らしの環境を創出することで、幅広い世代のUIターン(移住)を促進</u>します。(目標：年間60人程度) ・<u>安心して子どもを産み育てられる切れ目のない支援により、定住・移住を促進</u>します。(目標：合計特殊出生率*を2030年までに2.10) ・<u>健康で安心して住み続けられる社会を構築</u>します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市内高校の魅力向上」や「しごと」を生み出すことで、<u>高校生の進学・就職による人口流出に歯止めをかけ、Uターンを促進</u>します。(目標：例：2040年80人程度) ・<u>サテライトや魅力的な田舎暮らしの環境を創出することで、ファミリー層からアクティブシニア層までの幅広い世代のUIターン(移住)を促進</u>します。(目標：年間60人程度) ・<u>結婚、出産、子育ての希望を叶えるため、安心して子どもを産み育てられる切れ目のない支援により定住・移住促進へつなげ</u>ます。(目標：合計特殊出生率*を2030年までに2.10) ・<u>健康で安心して住み続けられる社会を構築し、健康寿命の延伸を図</u>ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載内容を簡略化した。
20ページ 共通して取り組むべき視点	<p>令和2年(2020)の国勢調査による本市の総人口は42,330人で、・・・</p> <p>(4)健康で長生きできるまちをつくるに<u>関する取組を更に発展させ、国・県の総合戦略を勘案の上、デジタルの力を活用した地方創生の加速化・深化による「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」に向けた取組が求めら</u>れています。</p>	<p>令和2年(2020)の国勢調査による本市の総人口は42,330人で、・・・</p> <p>(4)健康で長生きできるまちをつくるに<u>関する取組が求めら</u>れています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年12月末に示された国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の趣旨を踏まえ、デジタルの力を活用した地方創生の加速化・深化を謳う必要があったため。
21ページ 視点①	<p>そのため、農業・漁業・そうめん製造業などの地場産業の活力を維持するための担い手や後継者の育成、6次産業化や地域製品の<u>ブランド力強化、デジタル技術やロボット技術の活用による省力化・効率化等</u>に取り組むとともに、豊かな自然環境や世界遺産をはじめとした歴史・文化等の地域資源の魅力向上と積極的な活用による観光振興に取り組む必要があります。</p>	<p>そのため、農業・漁業・そうめん製造業などの地場産業の活力を維持するための担い手や後継者の育成、6次産業化や地域製品の<u>ブランド力強化等</u>に取り組むとともに、豊かな自然環境や世界遺産をはじめとした歴史・文化等の地域資源の魅力向上と積極的な活用による観光振興に取り組む必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプの活用の際して総合戦略の記載内容を引用する都合上、スマート農業の推進による効率的な農業推進の記載が必要のため。

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
21ページ 視点②	<p>本市は島原半島南部に位置し、(略)包括的な体制の構築が求められています。</p> <p>加えて、<u>市民が安全に安心して暮らせるよう、国土強靱化地域計画に基づき、激甚化する自然災害等に備えた社会インフラの強靱化と被害を軽減する減災に向けた取組が求められています。</u></p>	<p>本市は島原半島南部に位置し、(略)包括的な体制の構築が求められています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化、防災減災対策に関する記述が不足していたため追加したもの。 										
22ページ ～23ページ	※全部追加	(記載なし)	<ul style="list-style-type: none"> 南島原市デジタル田園都市国家構想総合戦略をここで説明する必要があったため。 										
24ページ ～25ページ	※基本柱、政策、施策のタイトルを追加	(記載なし)	<ul style="list-style-type: none"> 政策体系の説明が不足していたため。 										
32ページ	※分野別基本計画の見方(資料の見方)を全部追加	(記載なし)	<ul style="list-style-type: none"> パブリック・コメントに際して後期基本計画の基本的な見方を示していなかったため追加した。 追加後パブリック・コメントを行ったが、その際の意見で、字句修正があったため、その内容も反映した。 										
36ページ 政策1-1 数値目標3	<table border="1" data-bbox="353 938 965 1045"> <tr> <td data-bbox="353 938 416 1045">3</td> <td data-bbox="423 938 640 1045">市民清掃への自治会参加率</td> <td data-bbox="647 938 696 1045">%</td> <td data-bbox="703 938 869 1045"> $\frac{0.0}{(R \text{ 元年度 } 92\%)}$ </td> <td data-bbox="875 938 965 1045">100.0</td> </tr> </table>	3	市民清掃への自治会参加率	%	$\frac{0.0}{(R \text{ 元年度 } 92\%)}$	100.0	<table border="1" data-bbox="999 938 1599 1013"> <tr> <td data-bbox="999 938 1048 1013">3</td> <td data-bbox="1055 938 1279 1013">市民清掃への自治会参加率</td> <td data-bbox="1285 938 1335 1013">%</td> <td data-bbox="1341 938 1464 1013"> $\frac{0.0}{100.0}$ </td> <td data-bbox="1471 938 1599 1013">100.0</td> </tr> </table>	3	市民清掃への自治会参加率	%	$\frac{0.0}{100.0}$	100.0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響で令和3年度基準値が「0」の数値目標については、コロナ禍前の令和元年度の実績値を併記することで、平時の際の基準がどの程度であるか示すもの。
3	市民清掃への自治会参加率	%	$\frac{0.0}{(R \text{ 元年度 } 92\%)}$	100.0									
3	市民清掃への自治会参加率	%	$\frac{0.0}{100.0}$	100.0									
41ページ 政策2-1 関連する個別計画	○国指定史跡日野江城跡整備基本構想	○国指定史跡日野江城跡整備基本構想	<ul style="list-style-type: none"> パブリック・コメントによる意見で誤字が判明したため修正したもの。 										

(案)の 該当箇所	変更後					変更前					理由・その他
45ページ 政策2-2 数値目標11	11	子ども芸術鑑賞 イベントの参加 率(1公演あたり)	%	0.0 (R元年度 100%)	90.0	11	子ども芸術鑑賞 イベントの参加 率(1公演あたり)	%	0.0	90.0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で令和3年度基準値が「0」の数値目標については、コロナ禍前の令和元年度の実績値を併記することで、平時の際の基準がどの程度であるか示すもの。
47ページ 施策2-3-2 定住促進と 田舎暮らし の推進	<p>○移住・定住支援 <u>総合戦略</u> ながさき移住サポートセンターなどの関係機関と連携し、移住希望者に効果的な情報発信やニーズに沿った丁寧な相談対応を行うとともに、<u>継続して居住する意思をもった移住者に対して補助金を交付するなど、長く安心して生活することができるよう総合的に支援します。</u></p>					<p>○移住・定住支援 <u>総合戦略</u> ながさき移住サポートセンターなどの関係機関と連携し、移住希望者に効果的な情報発信を行うとともに、<u>ニーズに沿った丁寧な相談対応を行うなど、長く安心して生活することができるよう支援します。</u></p>					<ul style="list-style-type: none"> ・「南島原市移住者支援金(移住者世帯は100万円、単身は60万円を支援(18歳未満は一人当たり30万円加算))」は、デジタル田園都市国家構想交付金の地方創生推進タイプを活用しており、総合戦略への位置付けた事業である必要があるため。
49ページ 政策3-1 [まちづくり 方針]	<p>■<u>農業を担う者の育成や耕作放棄地の解消に取り組むとともに、スマート農業や省力化機械の導入等による経営の効率化と生産基盤の強化を推進し、農業経営の安定と所得の向上につなげます。</u></p>					<p>■<u>担い手の育成や耕作放棄地の解消に取り組むとともに、経営の効率化や生産基盤の強化を目指す。農業経営の安定と所得の向上につなげます。</u></p>					<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日施行予定の農業経営基盤強化促進法に、従来の「担い手」が「担う者」として定義されたため。 ・デジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプの活用の際して総合戦略の記載内容を引用する都合上、スマート農業の推進による効率的な農業推進の記載が必要なため。
49ページ 政策3-1 [政策を取り 巻く環境]	<p>●本市では農業従事者の<u>高齢化や減少に伴い就農人口の減少や労働力不足が深刻になりつつあり、今後は農業を担う者の確保、育成が求められています。</u></p>					<p>●本市では農業従事者の<u>高齢化、担い手の減少に伴い就農人口の減少や労働力不足が深刻になりつつあり、今後は担い手となる人材確保、育成が求められます。</u></p>					<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日施行予定の農業経営基盤強化促進法に、従来の「担い手」が「担う者」として定義されたため。
50ページ 政策3-1 [政策を取り 巻く環境] 注釈	<p>※有機JAS： <u>JAS法(日本農林規格等に関する法律)に基づいた生産方法に関する規格であり、農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として自然界の力で生産された食品を表してい</u></p>					<p>※有機JAS： <u>農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料、畜産物及び藻類に付けられています。</u></p>					<ul style="list-style-type: none"> ・より正確な表記に変更。

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
	<p>ます。農産物、加工食品、飼料、畜産物及び藻類に付けられています。</p>												
<p>51ページ 施策3-1-2 経営基盤の 強化（農林 業）</p>	<p>○経営基盤の強化 総合戦略 <u>新技術を活用したスマート農業や新規作物導入の推進、省力化機械・設備等の拡充を支援することで、効率的で収益性の高い農業の実現を目指します。</u> また、・・・</p>	<p>○経営基盤の強化 総合戦略 <u>新技術・新規作物導入の推進や省力化機械・設備等の拡充を支援し、収益性の高い農業の実現を目指します。</u> また、・・・</p>	<p>・デジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプの活用の際して総合戦略の記載内容を引用する都合上、スマート農業の推進による効率的な農業推進の記載が必要のため。</p>										
<p>52ページ 施策3-1-5 注釈</p>	<p>(削除)</p>	<p>※有機 JAS JAS法（日本農林規格等に関する法律）に基づいた生産方法に関する規格であり、農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として自然界の力で生産された食品を表しています。農産物、加工食品、飼料、畜産物及び藻類に付けられています。</p>	<p>・パブリック・コメントによる意見で50ページ[政策を取り巻く環境]記載の注釈と重複していたため削除したもの。</p>										
<p>53ページ 政策3-1 [わたしたちにできること]</p>	<p>○ 基幹産業である農業の維持・振興に向けて、<u>後継者や担う者の育成に協力しましょう。</u></p>	<p>○ 基幹産業である農業の維持・振興に向けて、<u>後継者や担い手の育成に協力しましょう。</u></p>	<p>・令和5年4月1日施行予定の農業経営基盤強化促進法に、従来の「担い手」が「担う者」として定義されたため。</p>										
<p>53ページ 政策3-1 数値目標 19</p>	<table border="1" data-bbox="353 1042 965 1106"> <tr> <td>19</td> <td>ほ場整備率</td> <td>%</td> <td>25.8</td> <td><u>26.6</u></td> </tr> </table>	19	ほ場整備率	%	25.8	<u>26.6</u>	<table border="1" data-bbox="1003 1042 1592 1106"> <tr> <td>19</td> <td>ほ場整備率</td> <td>%</td> <td>25.8</td> <td><u>28.8</u></td> </tr> </table>	19	ほ場整備率	%	25.8	<u>28.8</u>	<p>・現在の進捗状況から目標値を精査した結果、修正することとしたため。</p>
19	ほ場整備率	%	25.8	<u>26.6</u>									
19	ほ場整備率	%	25.8	<u>28.8</u>									
<p>54ページ 政策3-1 数値目標 25</p>	<table border="1" data-bbox="353 1169 965 1249"> <tr> <td>25</td> <td>農業を担う者への農地の利用集積・集約化</td> <td>ha/年</td> <td>48</td> <td>147</td> </tr> </table>	25	農業を担う者への農地の利用集積・集約化	ha/年	48	147	<table border="1" data-bbox="1003 1169 1592 1249"> <tr> <td>25</td> <td>担い手への農地の利用集積・集約化</td> <td>ha/年</td> <td>48</td> <td>147</td> </tr> </table>	25	担い手への農地の利用集積・集約化	ha/年	48	147	<p>・令和5年4月1日施行予定の農業経営基盤強化促進法に、従来の「担い手」が「農業を担う者」と定義されたため。</p>
25	農業を担う者への農地の利用集積・集約化	ha/年	48	147									
25	担い手への農地の利用集積・集約化	ha/年	48	147									

(案)の 該当箇所	変更後					変更前					理由・その他
54ページ 政策3-1 数値目標26	26	有害鳥獣による農 作物被害額	千円 /年	5,763	4,036	26	有害鳥獣による農 作物被害額	千円 /年	5,763	20,000	<ul style="list-style-type: none"> 島原半島地域鳥獣被害防止計画(第5次)【期間:令和5年度~令和7年度】が令和4年度に策定された。記載数値は令和7年度の目標であるが、他に参照できる数値がないため、同数値を目標としたもの。 パブリック・コメントによる意見として数値目標を減らすべきとの指摘もあった。
60ページ 施策3-3-1 経営基盤の 強化(商工 業)	<p>○創業・起業促進と生産性向上への支援総合戦略 商工会と連携し、空き店舗等の地域資源を活用した創業・起業者の支援に取り組むとともに、<u>買い物弱者対策などの地域課題の解決や地域貢献等に向けた事業者の取組を支援します。</u> また、生産性向上のための新技術導入や施設整備等に対する支援に取り組めます。</p>					<p>○創業・起業促進と生産性向上への支援総合戦略 商工会と連携し、空き店舗等の地域資源を活用した創業・起業者の支援や、<u>買い物弱者対策等の地域課題の解決に向けた事業者の取組を支援します。</u> また、生産性向上のための新技術や施設整備の導入に対する支援に取り組めます。</p>					<ul style="list-style-type: none"> デジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプの活用の際して総合戦略の記載内容を引用する都合上、地域課題解決や地域貢献に取り組む事業者への支援に関する記述が必要だったため。
60ページ 政策3-3 数値目標40	40	創業促進事業補助金 利用件数	件/年	3	5	40	そうめんのPR(メ ディア等)実施回数	回/年	29	30	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略との一体化にあたって、戦略の基本計画に付随する数値目標の記載が必要であったため、活動指標であるPR回数から成果指標の補助金利用件数に変更した。
64ページ 政策3-4 数値目標43	43	観光消費額	億円 /年	23	73	(記載なし)					<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略との一体化にあたって、戦略の基本計画に付随する数値目標の記載が必要であったため。 ※以降の数値目標No.は1繰り下げ。

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
65 ページ 政策 3-5 [政策を取り 巻く環境]	●新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今後は既存産業の活性化による雇用創出を基本としながら、リモートワークやテレワーク、ワーケーション*など、新たな働き方に対応する雇用環境の整備をはじめ、大都市圏の IT 企業のサテライトオフィス*の誘致、 <u>起業・創業</u> に対する <u>支援</u> など、若者にとって魅力あるまちづくり、若者が定着・定住をしたいと思えるまちづくりに向けた取組が求められています。	●新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今後は既存産業の活性化による雇用創出を基本としながら、リモートワークやテレワーク、ワーケーション*など、新たな働き方に対応する雇用環境の整備や、大都市圏の IT 企業のサテライトオフィス*の誘致、 <u>起業</u> に対する <u>支援</u> に <u>取り組む</u> など、若者にとって魅力あるまちづくり、若者が定着・定住をしたいと思えるまちづくりに努めます。	・デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプの活用の際して総合戦略の記載内容を引用する都合上、創業支援に関する記載が必要なため。 ・「政策を取り巻く環境」内の文章であるのに、努力する文章で終わっていたため、現状を述べる表現に改めたもの。										
66 ページ 政策 3-5 数値目標 50	<table border="1" data-bbox="353 608 965 671"> <tr> <td>50</td> <td>企業数</td> <td>社</td> <td>1,850</td> <td>1,786</td> </tr> </table>	50	企業数	社	1,850	1,786	<table border="1" data-bbox="996 608 1608 671"> <tr> <td>49</td> <td>企業数</td> <td>社</td> <td>2,053</td> <td>1,786</td> </tr> </table>	49	企業数	社	2,053	1,786	・令和 3 年度末時点の現状値が誤っていたため正しい数値に改めたもの。
50	企業数	社	1,850	1,786									
49	企業数	社	2,053	1,786									
70 ページ 政策 4-1 数値目標 60	<table border="1" data-bbox="353 738 965 815"> <tr> <td>60</td> <td>こころの健康づくり 講演会の開催回数</td> <td>回/年</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	60	こころの健康づくり 講演会の開催回数	回/年	0	1	<table border="1" data-bbox="996 738 1608 815"> <tr> <td>59</td> <td>講演会の開催回数</td> <td>回/年</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	59	講演会の開催回数	回/年	0	1	・何の講演会かわからなかったため。
60	こころの健康づくり 講演会の開催回数	回/年	0	1									
59	講演会の開催回数	回/年	0	1									
71 ページ 政策 4-2 [政策を取り 巻く環境]	●本市は、中核となる長崎県島原病院や <u>公立小浜温泉病院</u> をはじめ、市内の民間医療機関によって市民の医療を支えています。小児科、泌尿器科、呼吸器内科、耳鼻科、皮膚科等の専門科医療機関の数が少なく、医師の高齢化も進んでいることから、早期の医療機関確保が望まれています。	●本市は、中核となる長崎県島原病院や <u>公立新小浜病院</u> をはじめ、市内の民間医療機関によって市民の医療を支えています。小児科、泌尿器科、呼吸器内科、耳鼻科、皮膚科等の専門科医療機関の数が少なく、医師の高齢化も進んでいることから、早期の医療機関確保が望まれています。	・令和 3 年 4 月に公立小浜温泉病院に名称変更されていたため。										
71 ページ 施策 4-2-1 医療体制の 充実	○安心な医療体制確保 <u>総合戦略</u> 県南地域医療の基盤、中核となる長崎県島原病院と <u>公立小浜温泉病院</u> の適正な運営に努め、医療環境の確保を図ります。 また、医療機関による・・・	○安心な医療体制確保 <u>総合戦略</u> 県南地域医療の基盤、中核となる長崎県島原病院と <u>公立新小浜病院</u> の適正な運営に努め、医療環境の確保を図ります。 また、医療機関による・・・	・令和 3 年 4 月に公立小浜温泉病院に名称変更されていたため。										
73 ページ 政策 4-3 [まちづくり 方針]	■ 地域における見守りや支え合い、医療・介護・福祉などの多様な職種の連携を軸として、 <u>医療</u> や <u>介護</u> が必要になっても在宅で安全安心に暮らせる地域づくりを目指します。	■ 地域における見守りや支え合い、医療・介護・福祉などの多様な職種の連携を軸として、 <u>介護</u> が必要になっても在宅で安全安心に暮らせる地域づくりを目指します。	・介護のみでなく、「医療」についても必要があるため。										

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
74 ページ 施策 4-3-1 高齢者福祉 サービスの 充実	○ 介護予防・日常生活支援 島原地域広域市町村圏組合介護保険課が主体となり、訪問・通所型サービスを実施し、生活習慣の改善や運動機能維持に取り組みます。 また、介護予防自主グループなどに対して、 <u>フレイルや認知症予防のための講話を実施するとともに、健診データを活用して、健康リスクを抱える対象者を把握し、理学療法士による運動指導等を実施し、フレイル予防を図ります。</u>	○ 介護予防・日常生活支援 島原地域広域市町村圏組合介護保険課が主体となり、訪問・通所型サービスを実施し、生活習慣の改善や運動機能維持に取り組みます。 また、介護予防自主グループなどに対して、 <u>介護予防教室を開催し、フレイルや認知症予防のための講話を実施するとともに、健診データを活用して、ハイリスクのおそれがある対象者を把握し、理学療法士による運動指導等を実施し、フレイル予防を図ります。</u>	・通いの場である介護予防自主グループへ保健師等が出向き、講話等を実施しているもので、介護予防教室を開催しているわけではないため。 ・「ハイリスクのおそれがある」という表現が分かりづらいため、「健康リスクを抱える」とした。										
75 ページ 政策 4-3 [わたしたちにできること]	○ <u>フレイルや認知症予防のため、介護予防自主グループに参加しましょう。</u>	○ <u>フレイルや認知症予防のため、介護予防教室に参加しましょう。</u>	・通いの場である介護予防自主グループへ保健師等が出向き、講話等を実施しているもので、介護予防教室を開催しているわけではないため。										
76 ページ 政策 4-3 数値目標 66	<table border="1" data-bbox="353 863 965 1015"> <tr> <td data-bbox="353 863 640 1015">66</td> <td data-bbox="640 863 734 1015">高齢者の特性を踏まえた介護予防事業（年間延べ人数）</td> <td data-bbox="734 863 846 1015">人／年</td> <td data-bbox="846 863 965 1015">754</td> <td data-bbox="965 863 981 1015">1,300</td> </tr> </table>	66	高齢者の特性を踏まえた介護予防事業（年間延べ人数）	人／年	754	1,300	<table border="1" data-bbox="996 863 1608 1015"> <tr> <td data-bbox="996 863 1290 1015">65</td> <td data-bbox="1290 863 1391 1015">高齢者の特性を踏まえた介護予防事業（年間延べ人数）</td> <td data-bbox="1391 863 1491 1015">人／年</td> <td data-bbox="1491 863 1608 1015">:</td> <td data-bbox="1608 863 1621 1015">1,300</td> </tr> </table>	65	高齢者の特性を踏まえた介護予防事業（年間延べ人数）	人／年	:	1,300	・入力漏れであったため、令和3年度の実績値を追記したもの。
66	高齢者の特性を踏まえた介護予防事業（年間延べ人数）	人／年	754	1,300									
65	高齢者の特性を踏まえた介護予防事業（年間延べ人数）	人／年	:	1,300									
76 ページ 政策 4-3 数値目標 67	<table border="1" data-bbox="353 1070 965 1158"> <tr> <td data-bbox="353 1070 640 1158">67</td> <td data-bbox="640 1070 734 1158">成年後見人等報酬助成利用者数</td> <td data-bbox="734 1070 846 1158">人</td> <td data-bbox="846 1070 965 1158">5</td> <td data-bbox="965 1070 981 1158">8</td> </tr> </table>	67	成年後見人等報酬助成利用者数	人	5	8	<table border="1" data-bbox="996 1070 1608 1158"> <tr> <td data-bbox="996 1070 1290 1158">66</td> <td data-bbox="1290 1070 1391 1158">成年後見人等報酬助成利用者数</td> <td data-bbox="1391 1070 1491 1158">人</td> <td data-bbox="1491 1070 1608 1158">:</td> <td data-bbox="1608 1070 1621 1158">8</td> </tr> </table>	66	成年後見人等報酬助成利用者数	人	:	8	・入力漏れであったため、令和3年度の実績値を追記したもの。
67	成年後見人等報酬助成利用者数	人	5	8									
66	成年後見人等報酬助成利用者数	人	:	8									
77 ページ 政策 4-4 [まちづくり方針]	■ <u>障がいのある人が住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して続けられるよう、地域や事業者との連携を図りながら、地域で生活、社会参加のできる包括的な支援を目指します。</u>	■ <u>地域や事業者との連携を図りながら、住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して続けられるよう、地域で生活、社会参加のできる包括的な支援を目指します。</u>	・主語が見えづらかったので、文章を再編したもの。										

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
77ページ 政策4-4 [政策を取り 巻く環境]	●誰もが相互に人格を尊重し合う地域共生社会の実現を図るため、障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進していく必要があります。	●障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格を尊重し合い、市民の理解を深めることで社会参加を促進し、必要な医療や福祉サービスを利用しながら住み慣れた地域で互いに助け合い支え合い暮らし続ける、地域共生社会の実現が求められています。	・直前の「障がい者の自立支援」の内容と重複する記載があったため、記載内容を整理したもの。										
82ページ 政策4-5 数値目標77	<table border="1" data-bbox="353 491 965 600"> <tr> <td>77</td> <td>合計特殊出生率</td> <td>:</td> <td>1.68 (R2年度時点)</td> <td>2.00</td> </tr> </table>	77	合計特殊出生率	:	1.68 (R2年度時点)	2.00	(記載なし)	・総合戦略との一体化にあたって、戦略の基本計画に付随する数値目標の記載が必要であったため。					
77	合計特殊出生率	:	1.68 (R2年度時点)	2.00									
82ページ 政策4-5 数値目標78	<table border="1" data-bbox="353 662 965 722"> <tr> <td>78</td> <td>出生数</td> <td>人</td> <td>216</td> <td>273</td> </tr> </table>	78	出生数	人	216	273	(記載なし)	・総合戦略との一体化にあたって、戦略の基本計画に付随する数値目標の記載が必要であったため。					
78	出生数	人	216	273									
82ページ 政策4-5 数値目標79	<table border="1" data-bbox="353 794 965 871"> <tr> <td>79</td> <td>乳児家庭への訪問率</td> <td>%</td> <td>97.0</td> <td>98.0</td> </tr> </table>	79	乳児家庭への訪問率	%	97.0	98.0	<table border="1" data-bbox="996 794 1594 871"> <tr> <td>76</td> <td>乳児家庭への訪問率</td> <td>%</td> <td>97.0</td> <td>96.0</td> </tr> </table>	76	乳児家庭への訪問率	%	97.0	96.0	・パブリック・コメントの意見により数値目標を再度検討し、修正したもの。
79	乳児家庭への訪問率	%	97.0	98.0									
76	乳児家庭への訪問率	%	97.0	96.0									
87ページ 施策5-1-3 教育環境の整備	○適正規模・適正配置の推進 <u>総合戦略</u> 児童生徒の学校生活における教育環境の平準化、集団生活能力の向上などを図るため、保護者や地域の協力を得ながら、小中一貫教育、義務教育学校の設置を含めた適正規模・適正配置の検討を進めます。	○適正規模・適正配置の推進 <u>総合戦略</u> 児童生徒の学校生活における教育環境の平準化、集団生活能力の向上などを図るため、保護者や地域の協力を得ながら、小中一貫教育、義務教育学校の設置を含めた適正規模及び適正配置の検討を進めます。 加えて、本市における教育環境の充実を図るとともに、新たな地域振興の拠点として、跡地利活用策の検討も行います。	・施策8-4-2の「資産の有効活用」において跡地利用に言及しているため、該当部分を削除したもの。										

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
87ページ 施策5-1-3 教育環境の 整備	○学校施設の充実 <u>総合戦略</u> 子どもたちが安全で快適に学習に取り組むことができるよう、学校施設の計画的な整備、非構造部材耐震化や改修、適切な維持管理に努め、 <u>ICTの活用等による学習能力を高めるための環境づくりを推進します。</u>	○学校施設の充実 子どもたちが安全で快適に学習に取り組むことができるよう、学校施設の計画的な整備、非構造部材耐震化や改修、適切な維持管理に努め、 <u>学習能力を高めるための環境づくりを推進します。</u>	・ICTの活用による児童生徒の学習能力向上に関する取組については、総合戦略上必要な取組であることから、文言を追加し、総合戦略マークを追加したもの。										
88ページ 政策5-1 [わたしたちにできること]	○どこで生活しようとも「ふるさと南島原市」のためにできることを取り組みましょう。	○卒業後は「ふるさと南島原市」に帰って仕事に就きましょう。	・個人の権利に踏み込みすぎで、行政として適切な表現ではないため変更するもの。										
92ページ 政策5-2 数値目標93	<table border="1" data-bbox="353 703 965 778"> <tr> <td>93</td> <td>公民館講座・高齢者学級の開催数</td> <td>回</td> <td>97</td> <td>104</td> </tr> </table>	93	公民館講座・高齢者学級の開催数	回	97	104	<table border="1" data-bbox="996 703 1608 778"> <tr> <td>90</td> <td>公民館講座・高齢者学級の開催数</td> <td>回</td> <td>:</td> <td>104</td> </tr> </table>	90	公民館講座・高齢者学級の開催数	回	:	104	・入力漏れであったため、令和3年度の実績値を追記したもの。
93	公民館講座・高齢者学級の開催数	回	97	104									
90	公民館講座・高齢者学級の開催数	回	:	104									
92ページ 政策5-2 数値目標95	<table border="1" data-bbox="353 842 965 954"> <tr> <td>95</td> <td>フォーラム参加者数</td> <td>人／年</td> <td>0 (R元年度 202人)</td> <td>300</td> </tr> </table>	95	フォーラム参加者数	人／年	0 (R元年度 202人)	300	<table border="1" data-bbox="996 842 1608 917"> <tr> <td>92</td> <td>フォーラム参加者数</td> <td>人／年</td> <td>0</td> <td>300</td> </tr> </table>	92	フォーラム参加者数	人／年	0	300	・コロナ禍の影響で令和3年度基準値が「0」の数値目標については、コロナ禍前の令和元年度の実績値を併記することで、平時の際の基準がどの程度であるか示すもの。
95	フォーラム参加者数	人／年	0 (R元年度 202人)	300									
92	フォーラム参加者数	人／年	0	300									
92ページ 政策5-2 数値目標96	<table border="1" data-bbox="353 1038 965 1134"> <tr> <td>96</td> <td>放課後子ども教室の延べ参加数</td> <td>人</td> <td>498</td> <td>2,000</td> </tr> </table>	96	放課後子ども教室の延べ参加数	人	498	2,000	<table border="1" data-bbox="996 1038 1608 1134"> <tr> <td>93</td> <td>放課後子ども教室の延べ参加数</td> <td>人</td> <td>:</td> <td>2,000</td> </tr> </table>	93	放課後子ども教室の延べ参加数	人	:	2,000	・入力漏れであったため、令和3年度の実績値を追記したもの。
96	放課後子ども教室の延べ参加数	人	498	2,000									
93	放課後子ども教室の延べ参加数	人	:	2,000									
93ページ 政策5-3 [まちづくり方針]	■生涯スポーツの推進による心身ともに健康な暮らしの実現と、スポーツ活動やスポーツイベントを通じて人と地域の交流を目指します。	■年齢や性別を問わず、気軽にスポーツ活動に親しみ、生涯スポーツの推進と健康長寿社会の実現とともに、スポーツ活動やスポーツイベントを通じて、人と地域の交流を目指します。	・文章表現がおかしかったため、記載内容を整理したもの。										
94ページ 施策5-3-1 生涯スポー	○シニアスポーツの推進 市スポーツ協会とTEAMひまわりなどの市内関係団体が連携した、楽しく運動習慣が身に	○シニアスポーツの推進 市スポーツ協会とTEAMひまわりなどの市内関係団体が連携した、楽しく運動習慣が身につく	・既にシニアスポーツは、グランドゴルフ、ゲートボール競技など盛んになってきており、他のスポーツ										

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
ツの推進	つく <u>スポーツや運動教室等</u> を展開することで、生涯スポーツの推進と健康長寿社会を目指します。	<u>運動教室</u> を展開することで、生涯スポーツの推進と健康長寿社会を目指します。	の普及も視野に入れ運動教室に限定しない推進を目指しているため。										
95ページ 政策5-3 数値目標99	<table border="1" data-bbox="353 389 960 501"> <tr> <td data-bbox="353 389 416 501">99</td> <td data-bbox="423 389 640 501">原城マラソン大会参加者数</td> <td data-bbox="647 389 732 501">人/ 年</td> <td data-bbox="739 389 869 501">0 (R元年度 1844人)</td> <td data-bbox="875 389 960 501">2,000</td> </tr> </table>	99	原城マラソン大会参加者数	人/ 年	0 (R元年度 1844人)	2,000	<table border="1" data-bbox="999 389 1606 469"> <tr> <td data-bbox="999 389 1061 469">96</td> <td data-bbox="1068 389 1285 469">原城マラソン大会参加者数</td> <td data-bbox="1292 389 1377 469">人/ 年</td> <td data-bbox="1384 389 1469 469">0</td> <td data-bbox="1476 389 1606 469">2,000</td> </tr> </table>	96	原城マラソン大会参加者数	人/ 年	0	2,000	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で令和3年度基準値が「0」の数値目標については、コロナ禍前の令和元年度の実績値を併記することで、平時の際の基準がどの程度であるか示すもの。
99	原城マラソン大会参加者数	人/ 年	0 (R元年度 1844人)	2,000									
96	原城マラソン大会参加者数	人/ 年	0	2,000									
95ページ 政策5-3 数値目標	(削除)	<table border="1" data-bbox="999 592 1606 671"> <tr> <td data-bbox="999 592 1061 671">97</td> <td data-bbox="1068 592 1285 671">ひまわりウォーク参加者数</td> <td data-bbox="1292 592 1377 671">人/ 年</td> <td data-bbox="1384 592 1469 671">0</td> <td data-bbox="1476 592 1606 671">100</td> </tr> </table>	97	ひまわりウォーク参加者数	人/ 年	0	100	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課に確認したところ、令和5年度以降実施しない方針であったため、数値目標から削除したもの。 					
97	ひまわりウォーク参加者数	人/ 年	0	100									
97ページ 施策5-4-1 国際交流の 推進	○ 国内姉妹都市等との交流 <u>総合戦略</u>	○ 国内姉妹都市等との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・国内姉妹都市交流は青少年の人材育成や郷土愛醸成、交流人口拡大等を図るため総合戦略上必要な取組であることから、総合戦略マークを追加したもの。 										
105ページ 施策7-1-1 道路網の整備	○ 市内道路の整備 <u>総合戦略</u> 市内道路及び橋梁の安全性や重要性を考慮した計画的な整備と維持管理を推進することで、 <u>産業振興にも寄与する、回遊性や利便性の高い市内道路ネットワークを構築</u> します。	○ 市内道路の整備 市内道路及び橋梁の安全性や重要性を考慮した計画的な整備と維持管理を推進することで、 <u>回遊性や利便性の高い市内道路ネットワークを構築</u> します。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル田園都市国家構想交付金地方創生道整備タイプの活用にあたって総合戦略の記載内容を引用する都合上、産業振興に資する道路整備を行う旨の記載が必要なため。 										
107ページ 政策7-2 [政策を取り 巻く環境]	● 現在本市では、公営住宅として46団地、 <u>313棟、868戸</u> を管理していますが、 <u>昭和40年代以前に建築された公営住宅については老朽化が著しく、建替や改修の必要性に迫られています。</u>	● 現在本市では、公営住宅として46団地、 <u>314棟、892戸</u> を管理していますが、 <u>昭和昭和40年代に建築された公営住宅については老朽化が著しく、建替や改修の必要性に迫られています。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・解体した旧須川団地分を除いた数字に変更した。 ・昭和が重複していたため。 ・昭和30年代以前の住宅も多数残っているため。 										

(案)の 該当箇所	変更後	変更前	理由・その他										
111 ページ 政策 7-2 数値目標 119	<table border="1"> <tr> <td>119</td> <td>市営住宅建設事業 (H28 からの累計)</td> <td>団地</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </table>	119	市営住宅建設事業 (H28 からの累計)	団地	0	3	<table border="1"> <tr> <td>117</td> <td>市営住宅建設事業 (H28 からの累計)</td> <td>棟</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </table>	117	市営住宅建設事業 (H28 からの累計)	棟	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・建築棟数は現時点では不明のため、建替えを行う団地数に変更する。
119	市営住宅建設事業 (H28 からの累計)	団地	0	3									
117	市営住宅建設事業 (H28 からの累計)	棟	0	6									
111 ページ 政策 7-2 数値目標 120	<table border="1"> <tr> <td>120</td> <td>住宅性能向上リフ ォーム支援事業</td> <td>件/年</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </table>	120	住宅性能向上リフ ォーム支援事業	件/年	10	13	<table border="1"> <tr> <td>118</td> <td>住宅性能向上リフ ォーム支援事業</td> <td>件/年</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> </table>	118	住宅性能向上リフ ォーム支援事業	件/年	10	15	<ul style="list-style-type: none"> ・目標数値を、近年の現状を勘案し変更した。
120	住宅性能向上リフ ォーム支援事業	件/年	10	13									
118	住宅性能向上リフ ォーム支援事業	件/年	10	15									
112 ページ 政策 7-3 [まちづくり 方針]	<ul style="list-style-type: none"> ■各種メディアを活用して、市政情報を含めた本市の魅力発信に積極的に取り組むことで、開かれた行政運営と本市の知名度・認知度向上を目指します。 ■行政サービスの利便性の向上や地域の課題解決を図るため、高度情報化などの社会の変化に対応した市民目線によるデジタル化を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■高度情報社会・デジタル化に対応し、市民生活の利便性向上や産業の生産性向上、企業誘致の促進、行政サービスの向上につながる情報通信環境の整備を目指します。 ■社会の変化、技術革新がもたらす対応力を活用し、住民サービスの提供や課題解決につながる行政サービスのデジタル化を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信基盤の整備は、令和3年度末の市内光ファイバ網の整備完了をもって終了したため記載を抹消し、情報発信と地域社会のデジタル化に関する記載へと修正したものの。 										
112 ページ 政策 7-3 [政策を取り 巻く環境]	(削除)	<ul style="list-style-type: none"> ●行政サービスをはじめとするデジタル化の進展に伴い、デジタル技術を利用できる人とそうでない人との間に情報格差（デジタル・デバイド）が生じないように取り組み必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の「地域社会のデジタル化」の項目に同様の記載があるため削除したものの。 										
117 ページ 政策 8-1 [関連する個 別計画]	南島原市協働のまちづくり推進指針	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・記載漏れであったため、追記したものの。 										
117 ページ 政策 8-1 数値目標 132	<table border="1"> <tr> <td>132</td> <td>パブリック・コメント の実施回数</td> <td>回</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </table>	132	パブリック・コメント の実施回数	回	7	5	<table border="1"> <tr> <td>130</td> <td>パブリック・コメント の実施回数</td> <td>回</td> <td>：</td> <td>5</td> </tr> </table>	130	パブリック・コメント の実施回数	回	：	5	<ul style="list-style-type: none"> ・入力漏れであったため、令和3年度の実績値を追記したものの。
132	パブリック・コメント の実施回数	回	7	5									
130	パブリック・コメント の実施回数	回	：	5									

(案)の 該当箇所	変更後					変更前					理由・その他
120 ページ 政策 8-2 数値目標 139	<u>139</u>	人権啓発イ ベント実施回数	回 ／ 年	<u>0</u> (R2 年度 1)	1	<u>137</u>	人権啓発イ ベント実施回数	回 ／ 年	<u>0</u>	1	・コロナ禍の影響で令和3年度基準 値が「0」の数値目標については、 直近実施の実績値を併記すること で、平時の際の基準がどの程度で あるか示すもの。
127 ページ 政策 8-4 数値目標 152	<u>152</u>	ふるさと応 援寄附金	千円 ／年	651,868	<u>1,000,000</u>	<u>150</u>	ふるさと応 援寄附金	千円 ／年	651,868	<u>100,000</u>	・目標値について、単位を誤って記載 していたため、「100,000」を 「1,000,000」に修正。
128 ページ ～ 129 ペ ージ 資料編	※全部追加					(記載なし)					・総合戦略との一体化にあたって、戦 略の基本計画に付随する数値目標 の記載が必要であり、戦略に関係 する数値目標を抜粋・整理する必 要があったため。